

平成29年度  
全国学力・学習状況調査

# 解説資料

一人一人の児童の学力・学習状況に応じた  
学習指導の改善・充実に向けて

小学校 国語

---



平成29年4月

国立教育政策研究所 教育課程研究センター



## 目 次

平成29年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 小学校国語科の調査問題作成に当たって	5
II 調査問題一覧表	9
A 主として「知識」に関する問題	10
B 主として「活用」に関する問題	11
III 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等）	13
A 主として「知識」に関する問題	13
① 学級文集のタイトルを決める	14
② お礼の手紙を書く	18
③ 必要な情報を見付けて読む	22
④ 好きな俳句を紹介する	26
⑤ ことわざカードを作る	30
⑥ 古文を音読して楽しむ	34
⑦ 漢字を読んだり書いたりする	36
B 主として「活用」に関する問題	39
① スピーチの練習をする（「折り紙」の紹介）	40
② 協力を依頼する文章を書く（緑のカーテン作りへの協力をお願い）	50
③ 物語を読んで，感想を伝え合う（あまんきみこ「きつねの写真」）	58
IV 解答用紙（正答（例））	69
国語A	70
国語B	71
V 点字問題（抜粋）	73
VI 拡大文字問題（抜粋）	85



# 平成 29 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

## ◆ 目的

本資料は、平成 29 年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるよう作成したものです。

## ◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答の解説、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第 5 学年まで、中学校においては第 2 学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。各設問の「学習指導要領における領域・内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に活用できます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、自校での採点を含め、日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、一人一人の児童生徒の具体的な解答状況を把握できるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものとして、「解答類型」を設けています。

正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況（どこでつまずいているのか）等に注目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

「学習指導に当たって」では、関連する過去の調査の報告書や授業アイデア例などの該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の報告書・授業アイデア例などは、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。（<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>）

## ◆ 本資料の活用にあたって

### I 調査問題作成にあたって

調査問題作成の基本理念、問題作成の枠組みについて解説しています。

### II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

### Ⅲ 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，学習指導に当たって等）

調査問題について，出題の趣旨，解説（解答類型，学習指導要領における領域・内容），学習指導に当たって等を記述しています。（設問によっては，記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。  
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

#### 1. 出題の趣旨

調査問題ごとに出題の意図，把握しようとする力，場面設定などについて記述しています。

#### 2. 解説

##### 趣旨

設問ごとの出題の意図，把握しようとする力などを示しています。

##### ■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図るための参考となるよう，関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

##### ■評価の観点

設問に関する評価の観点を示しています。

##### 解答類型（下欄の\*1を参照）

一人一人の児童生徒の解答状況を把握できるように，設問における解答類型を示しています。

教科名 A ○ ……

問題画像

##### 1. 出題の趣旨

.....  
.....

##### 2. 解説

設問 ○

趣旨

.....

##### ■学習指導要領における領域・内容

〔第○学年〕 .....  
.....

##### ■評価の観点

.....

##### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
○	1	◎
	2	
	3	
	4	
	9	
	0	

#### \*1 一人一人の児童生徒の解答状況を把握するために

＜解答類型＞ 一人一人の児童生徒の具体的な解答状況を把握することができるよう，設定する条件などに即して解答を分類，整理するためのものです。正答例，誤答例を示すとともに，必要に応じて「正答について」，「誤答について」の解説を加えていますので，自校での採点を行う際や，一人一人の児童生徒の誤答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

＜正 答＞ 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答  
「○」…設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

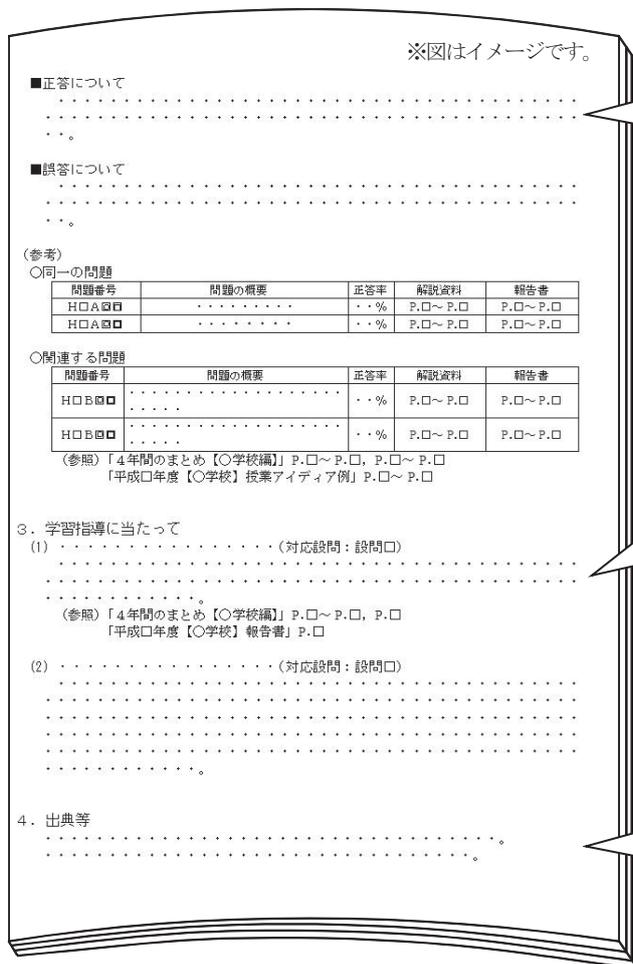
＜類型番号＞ 類型1～8（最大）…正答・予想される誤答（複数の類型が正答となる設問もある）  
類型9 …「上記以外の解答」（類型1～8までに含まれない解答）  
類型0 …「無解答」（解答の記入のないもの）

#### \*2 日々の学習指導に生かすために

##### 3. 学習指導に当たって

学習指導の改善・充実を図る際の参考にしてください。また，調査問題に関する領域・内容について，各学年での日々の学習指導に際しても活用することができます。

なお，関連する過去の調査の報告書や授業アイデア例など，これまで作成した資料の該当ページを記載していますので，これらの資料も併せて活用すると，より効果的です。



■正答について  
正答についての解説を適宜記述しています。

■誤答について  
予想される誤答についての解説を適宜記述しています。

(参考)  
過去の関連する問題, 解説資料, 報告書, 授業アイデア例等を記載しています。

3. 学習指導に当たって  
(前ページ下欄の\*2を参照)  
学習指導の改善・充実を図る際のポイントを記述しています。

4. 出典等  
著作物からの出題の場合に, 出典及び著作権者等について示しています。  
また, 問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

#### IV 解答用紙 ( 正答 (例) )

調査問題の解答用紙に正答 (例) を記述したものを掲載しています。

#### V 点字問題 (抜粋)

点字問題の一部を, 当該設問の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

#### VI 拡大文字問題 (抜粋)

拡大文字問題の一部を, 当該設問の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では, 以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】報告書」	「平成○年度【○学校】報告書」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」 「平成23年度 全国学力・学習状況調査として実施予定であった調査問題を踏まえた授業アイデア例 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】 授業アイデア例」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力, 判断力, 表現力等の育成に向けて～【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」



# I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

## 小学校国語科の調査問題作成に当たって

### 1 調査問題作成の基本理念

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（平成 18 年 4 月）では、調査問題の出題範囲・内容について、各学校段階における各教科等の土台となる基盤的な事項に絞った上で、調査問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。

主として「知識」に関する問題 （以下「『知識』の問題」という。）	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題 （以下「『活用』の問題」という。）	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

また、本調査の実施によって、「各教育委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容等を正しく理解するよう促すとともに重視される力を子どもたちに身に付けさせるといった国としての具体的なメッセージを示すこととなる」としている。

具体的な調査問題の作成に当たっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。

以上の点等を踏まえ、本調査の調査問題は、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮しつつ、小学校学習指導要領（平成 20 年告示。以下「学習指導要領」という。）に示された国語科の目標及び内容等に基づいて作成することを基本とした。

### 2 調査問題作成の枠組み

#### (1) 領域等と評価の観点

出題の範囲として、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示された指導事項をバランスよく出題するように配慮する。

調査時期が第 6 学年の 4 月であるので、第 5 学年の終了段階において習得すべき指導内容が出題の範囲となる。

※ 「A 話すこと・聞くこと」の領域については、児童が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近い形式になるようにして出題する。

評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点を、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とする。なお、「国語への関心・意欲・態度」の評価については、「活用」の問題における記述式の問題、「児童質問紙調査」を通して行うこととする。

#### (2) 「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、第 5 学年の終了段階において習得すべき指導事項を焦点化して出題する。調査時間は 20 分である。

#### (3) 「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題は、第 5 学年の終了段階において習得すべき指導事項を、学習指導要領に示された言語活動例などを遂行する中で活用できるかどうかをみる。そのため、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を複合させて出題する場合がある。調査時間は 40 分である。

#### (4) 問題形式

問題形式は、選択式、短答式、記述式の3種類とする。記述式の問題では、知識・技能等を生かし、相手や目的、意図、場面や状況などに応じて自分の考えを明確にして書くことを求めている。具体的には、「活用」の問題において、各大問の中に一題程度、記述式の問題を取り入れる。

各領域における記述式の出題に関する基本的な考え方を次に示す。

##### ■ 「A 話すこと・聞くこと」における記述

「A 話すこと・聞くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じ、事柄が明確に伝わるように話す順序や構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す能力を高めるとともに、話の中心や話し手の意図を捉えながら聞き、質問をしたり、感想や意見を述べたりする能力などを高めることが求められる。

「A 話すこと・聞くこと」の記述式の問題では、スピーチ原稿などのように話す事柄を分かりやすく整理したり、インタビュー記録などのように聞いた事柄やそれらに対する感想、意見などを区別したり、また話合いの中で自分の考えなどをまとめたりして書くような内容を出題する。

##### ■ 「B 書くこと」における記述

「B 書くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じ、調べたことや考えたことなどについて全体の構成を整えたり、下書きをよりよく推敲したりして書く能力などを高めることが求められる。その際、礼状や依頼状、意見文、紹介文、記録文、報告文などの様々な文章の種類や形態の特徴を踏まえた上で、書くことの一連のプロセスに即して書くことが重要である。

「B 書くこと」の記述式の問題では、書くことの一連のプロセスの各段階で必要とされる能力を抽出し、前述した様々な文章の種類や形態の特徴に応じて調べたことや考えたことなどを適切に書くような内容を出題する。

##### ■ 「C 読むこと」における記述

「C 読むこと」の指導においては、目的に応じ、本や文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえて自分の考えを明確にしながら読んだりする能力などを高めることが求められる。

「C 読むこと」の記述式の問題では、目的に応じて本や文章を読み、その内容や構成などについて理解したこと、要旨や書き手の意図について解釈したことなどを書くような内容を出題する。また、これまでの読書経験、体験などと関係付けながら、感想や評価などを書くような内容も出題する。

なお、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」のそれぞれの記述式の問題には、具体的な評価の観点を明確にする上で、必要に応じて解答の条件を付す。

##### ◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述式による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえつつ代替問題を作成したりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。



## II 調查問題一覽表

調査問題一覧表 【小学校国語】  
A 主として「知識」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式		
			聞話	書	読	国伝 語の 特質 に言 語文 化事 項と	関心 ・語 意欲 ・へ 態度 の	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知言 識語 ・に 理 解 つ い て 能 の	選 択 式	短 答 式	記 述 式
1	学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う	3・4 オ					○				○		
2	一 お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く		5・6 ウ					○			○		
	二 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く		5・6 イ					○			○		
3	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む			3・4 イ					○		○		
4	一 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える		5・6 エ	3・4 (1)ア (ア)					○	○	○		
	二 グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する			5・6 エ	3・4 (1)ア (ア)					○	○	○		
5	ア ことわざの使い方の例として適切なものを選択する (三度目の正直)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる			3・4 (1)ア (イ)							○	○	
	イ ことわざの使い方の例として適切なものを選択する (もちはもち屋)				3・4 (1)ア (イ)							○	○	
6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む			5・6 (1)ア (ア)							○	○	
7	(1) 漢字を書く (参加たいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			5・6 (1)ウ (ア)							○	○	
	(2) 漢字を書く (4年生のきぼう者)				5・6 (1)ウ (ア)							○	○	
	(3) 漢字を読む (申し込み期限)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			5・6 (1)ウ (ア)							○	○	
	(4) 漢字を読む (事務室前)				5・6 (1)ウ (ア)							○	○	
	(5) 漢字を書く (箱がおいてあります)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			5・6 (1)ウ (ア)							○	○	
	(6) 漢字を読む (指爪)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			5・6 (1)ウ (ア)							○	○	
合計			1	2	3	11	0	1	2	3	11	9	6	0

調査問題一覧表 【小学校国語】  
B 主として「活用」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等					評価の観点					問題形式		
			聞話	書	読	伝国	関国	話	書	読	知言	選	短	記	
			くす	く	む	国語の特質に関する事項と	心・語意欲・態度の	す・聞	く	む	識語・理解・技能の	択	答	述	
			ここ	こ	こ		ハ	能	能		式	式	式		
			とと	と	と		度	力	力	力	能	式	式	式	
1	一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する		5・6イ					○				○		
	二	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く		5・6イ					○				○		
	三	折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く		5・6イ	5・6ウ			○	○	○					○
2	一	【緑のカーテン作りへの協力のお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する		5・6イ						○			○		
	二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する		5・6エ						○			○		
	三	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の「イ」に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く		5・6ウ				○		○					○
3	一	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、「A」に当てはまる言葉として適切なものを選択する			5・6エ						○		○		
	二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する			5・6オ						○		○		
	三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く		5・6ウ	5・6エ			○		○	○				○
合計			3	5	3	0	3	3	5	3	0	5	1	3	



### Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

#### A 主として「知識」に関する問題

## 国語 A 1 学級文集のタイトルを決める

1

野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島 私のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまどまりました。

西山 多くのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るいし、まわりをあたためることができるからです。

野村 私のグループも、明るいというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまどまりました。でも、「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

～（報告が続く）～

（問い） 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合っただけでまどまったことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

### 1. 出題の趣旨

互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことができるかどうかをみる。

グループや学級全体で問題解決などに向けて話し合うためには、司会者や提案者などの役割を理解し、児童一人一人が積極的に進行に協力することが重要である。その際、互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理することが大切である。

本問では、学級文集のタイトルを決定するために、各グループで話し合ったことを報告する場面を設定した。ここでは、グループで話し合ったことについて学級全員に伝えるため、各グループの報告者はどのようなことを報告しているかを捉えることが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。

#### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 学級全体で話し合っただけで考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。

#### ■評価の観点

話す・聞く能力

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
1	1	1 と解答しているもの	◎
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	
	4	4 と解答しているもの	
	9	上記以外の解答	
	0	無解答	

#### ■正答について

グループで話し合ったことを基にして、学級全体で進行に沿って話し合うためには、グループで話し合ったことを学級の全員に伝わるように整理して報告する必要がある。

野村さんは、「太陽」と「銀河」がよいという意見が出て、学級みんなに考えてほしいと報告していることから、正答は選択肢3である。なお、中島さんは、グループで話し合い、「太陽」がよいとまとまったことを報告しており、これは選択肢1に当たる。西山さんは、中島さんのグループとは違う理由で「太陽」がよいとまとまったことを報告しており、これは選択肢4に当たる。

#### (参考)

##### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24B 2一	参加者から出された質問の内容を適切に捉え、まとまりごとに整理する	84.4%	P. 44～P. 51	P. 153～P. 161
H24B 2二	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	52.9%	P. 44～P. 51	P. 153～P. 161
H24B 2三	話し合いの目的を再確認し、計画的に話し合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したものを選択する	52.5%	P. 44～P. 51	P. 153～P. 161

(参照)「平成24年度【小学校】授業アイデア例」P. 3～P. 4

### 3. 学習指導に当たって

- 司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの考えの共通点や相違点を整理する  
グループや学級全体の問題解決などに向けて、司会者や提案者、参加者などの役割を決めて話し合い、より一層豊かな相互交流を図ることができるようにすることが重要である。その際、個人やグループの意見の共通点や相違点を整理し、児童一人一人の考えを反映させながら、学級全体として一つの考えに集約することや、互いに意見を述べ合う中で、各自の考えを広げたり深めたりできるようにすることが大切である。また、互いの考えが相違する場合には、それぞれの考えがどのようなことに基づいているのかということに着目して話し合いを進めることができるようにすることも大切である。

司会者の役割としては、目的に応じて適切に話し合いを進行することが挙げられる。そのためには、参加者に発言を促したり、発言の共通点や相違点を確認したり、話し合った内容をまとめたりすることができるようにすることが大切である。提案者の役割としては、参加者全員に考えが伝わるように、話す内容を整理することが挙げられる。その際、話し方に注意しながら、説明したり報告したりすることができるようにすることが大切である。参加者の役割としては、進行に合わせながら、積極的に自分の考えを述べ、話し合いに加わることを挙げられる。そのほかにも、話し合いを有効に進めるためには、記録や時間管理などの役割があると考えられる。様々な話し合いの場面において、児童一人一人がそれぞれの役割について学ぶことができるように、意図的、計画的に機会を設定することが大切である。



国語 A 2 お礼の手紙を書く

2

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せっかく板を使ってあらうと、せんとく機だけでは落ちないようなよこがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よこを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんとくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんとく板を使い、長い時間をかけてせんとくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ウ	ア	イ
---	---	---

一 松本さんは、【山村さんへの手紙】の        でのようなことを書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いている。
- 2 今と昔の生活のちがいにについて、体験して気づいたことを書いている。
- 3 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いている。
- 4 見学をして新たに疑問に思ったことを書いている。

二 松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。【山村さんへの手紙】の ア ・ イ ・ ウ の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- |   |         |         |         |
|---|---------|---------|---------|
| 1 | ア 自分の名前 | イ 日付    | ウ 相手の名前 |
| 2 | ア 日付    | イ 相手の名前 | ウ 自分の名前 |
| 3 | ア 相手の名前 | イ 日付    | ウ 自分の名前 |
| 4 | ア 日付    | イ 自分の名前 | ウ 相手の名前 |

## 1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書くことができるかどうかをみる。

手紙には、依頼状、案内状、礼状など様々な形態がある。目的や意図に応じ、手紙の構成に基づいて書く事柄を整理し、適切に敬語を使いながら、内容の中心が明確になるように手紙を書くことは重要である。

本問では、歴史資料館でお世話になった山村さんへのお礼の手紙を書く場面を設定した。お礼の手紙には、感謝の気持ちを表す言葉を用いて書くことにとどまらず、体験を通して感じたことや分かったことを詳しく書くなど、感謝の思いを具体的に相手に伝えることができるようにすることが大切である。ここでは、お世話になった山村さんに感謝の思いを伝えるために、何を取り上げて書いているのかを捉えることが求められる。

設問二は、平成24年度【小学校】国語B<sup>1</sup>三（正答率23.6%）において、「手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名をそれぞれ適切な位置に書くこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 B 書くこと

エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

### ■評価の観点

書く能力

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
2	—	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

お世話になった山村さんにお礼の気持ちを伝える手紙であることを捉える必要がある。【山村さんへの手紙】の[ ]には、資料館での体験を通して感じたことや、体験から気が付いたことが具体的に書かれている。このことから、正答は選択肢2である。

なお、選択肢3のように、お礼の気持ちを伝えるために、山村さんの話の中で心に残ったことを書くことも大切である。

選択肢1と4は、見学後に報告文を書く際に大切な事柄である。

設問二

趣旨

手紙の構成を理解し、後付けを書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
②	二	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

手紙の基本的な構成に基づき、後付けにおける署名と宛て名の位置関係を捉える必要がある。日付と宛て名は署名よりも上の位置に書くことから、正答は選択肢4である。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H21A③	はがきの表書きに必要な事柄を選択する	67.1%	P. 18～P. 19	P. 175～P. 176
H24B①一	目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容として適切なものを選択する	65.0%	P. 38～P. 43	P. 144～P. 151
H24B①二	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	55.5%	P. 38～P. 43	P. 144～P. 151
H24B①三	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する	23.6%	P. 38～P. 43	P. 144～P. 151

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 実用的な文章を書く

実生活においては、依頼状や案内状、礼状などの実用的な文章としての手紙を書くことが求められる。その際、目的や意図に応じて、事実と感想、意見などを詳しく書いたり、簡単に書いたりする必要がある。手紙を書く相手や目的を明確にしながら、書く必要のある事柄を選んだり、構成したりすることができるように指導することが大切である。また、相手や目的に応じて、適切な言葉遣いで書くことができるように指導することも大切である。

具体的には、本問のような、お世話になったことへのお礼の手紙、学校行事について案内をする手紙、地域での体験学習の指導を依頼する手紙などを書くことが考えられる。低学年の段階から、意図的、計画的に手紙を書く活動を設定し、相手を明確にして伝えたり、返事をもらったりするというような交流を重視する必要がある。その際、低学年では形式を重んじることよりも、短い文や伝言でもよいので、書いた手紙で交流する楽しさを感じることができるように指導することが大切である。

#### (2) 基本的な形式を理解して、手紙を書く

表書きに宛て名や住所などを正しく書くことや、後付けにおける署名と宛て名の位置関係といった手紙の基本的な形式などについて指導する必要がある。その際、例えば、縦書きの手紙の場合、署名と宛て名の位置関係を押さえることにとどまらず、「宛て名を最終行の上の位置に書くことで相手への敬意を示すことにつながる」など、手紙の形式がもつ意味について指導することが大切である。

国語 A 3 必要な情報を見つけて読む

3

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【資料】 段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

- 「時の記念日」はどんな日？
- 1 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。
  - 2 「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日(今のこよみでは六七一年六月十日)に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。
  - 3 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。
  - 4 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。
  - 5 現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

(問い)

小野さんは、「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

小野さん……

今村さん……

1. 出題の趣旨

目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらと関係付けて読むこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。このことに関連して、平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査4 A ㉓ (一) (通過率58.9%) においても、「目的に応じて文章中のどの段落を読めばよいのかを自ら判断すること」に課題があることが分かっている。

本や文章を読んで、必要な情報を得るためには、自分の課題や目的に応じて適切な段落や部分を選び、情報を取り出しながら読むことが重要である。

本問では、6月号の学校新聞に、「時の記念日」について特集する記事を書くために、資料から必要な情報を見付けながら読む場面を設定した。ここでは、目的に応じて中心となる語や文、段落を適切に捉えて読むことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

イ 記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。

## ■評価の観点

読む能力

問題番号	解 答 類 型	正答
3	1 小野さんに2, 今村さんに3と解答しているもの	◎
	2 小野さんに2と解答しているが, 今村さんに3と解答していないもの	
	3 今村さんに3と解答しているが, 小野さんに2と解答していないもの	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

## ■正答について

学校新聞の記事を作成するために、小野さんと今村さんがそれぞれ【資料】のどの段落を中心に読めばよいかを捉える必要がある。小野さんは「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」と考えている。これは「時の記念日」の由来についての疑問である。この疑問に対する答えが書かれている段落2が正答である。また、今村さんは「なぜ『時の記念日』を設定したのか」と考えている。これは制定された理由や目的についての疑問である。この疑問に対する答えが書かれている段落3が正答である。

なお、段落1は、日本で初めて作られた時計について、段落4は、「時の記念日」は、多くの人々によく知られる記念日であること、段落5は、時間や時計に関する催しについて記述されている。小野さんと今村さんの疑問に対する答えは、段落1, 4, 5には書かれていない。

(参考)

### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A 5ア	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出して書く	91.2%	P. 23～P. 25	P. 132～P. 133
H24A 5イ		92.2%		
H27B 2ア	アに入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	75.7%	P. 44～P. 52	P. 56～P. 64
H27B 2イ	イに入る言葉として適切な内容を書き抜く	86.1%	P. 44～P. 52	P. 56～P. 64

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11

「平成27年度【小学校】授業アイデア例」P. 6

### 3. 学習指導に当たって

#### ○ 目的に応じて、中心となる語や文を捉え、必要な情報を見付けて読む

高学年になると、課題を解決するために資料を集めたり、同じ作者や課題について数多くの作品を読んだりするなど、読む目的も多様化する。本や新聞、雑誌、インターネットなど様々なメディアから情報を得る際、目的に応じて、中心となる語や文を捉え、必要な情報を見付けて読む能力を育成することが重要である。

本問のように、調べる学習活動においては、読む目的によって、取り上げる中心となる語や文、段落は変化してくる。「何のために調べるのか」、「何について調べるのか」など、調べる目的や事柄を明確にした上で、本や文章を選び、その中の記述や説明から、課題を解決するために必要な情報を選択することが重要である。その際、本の題名や種類に着目し、目次や索引などを効果的に利用することができるように指導することが大切である。さらに、以前に読んだ本や文章と比べたり、自分のもっている知識や情報、現実などと結び付けたりして、自分の考えを深めることができるように指導することも大切である。

### 4. 出典等

- ・学研辞典編集部 編『年中行事・記念日事典』（2004年12月 株式会社 学習研究社）
  - ・著者 深光富士男 監修 竹内誠『日本の年中行事 5月・6月』（2004年3月 株式会社 学習研究社）
  - ・編者 加藤迪男『記念日の事典』（1999年9月 株式会社 東京堂出版）
  - ・文・絵 かこさとし『かこさとし こどもの行事 しぜんと生活 6月のまき』（2012年5月 株式会社小峰書店）
- などによる。



## 国語A 4 好きな俳句を紹介する

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた「俳句カード」と好きな俳句を紹介するための「話し合いの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

### 【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな  
小林一茶

（調べた内容）

季語：雪とけて 季節：春  
この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ ひやひやと月も白しや秋の風  
上島鬼貫

（調べた内容）

季語：秋の風 季節：秋  
この俳句は、「秋のこぢい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

### 【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」「くりくり」がおもしろいね。声に出して読んでみるよ。（音読）

中西 リズムよく読んで、読むのが楽しくなるね。「くりくり」というのは、月の（A）を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。（音読）

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

一 中西さんは、「話し合いの様子」の（A）でどのように発言しましたか。（A）に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 かすんでいる様子
- 2 まっ白い様子
- 3 まんまるい様子
- 4 欠けていく様子

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
- 2 それぞれの作者の生き方や考え方
- 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
- 4 季語の使い方や季語から想像したこと

## 1. 出題の趣旨

俳句の情景を捉えることができるかどうかをみる。

短歌の五・七・五・七・七の三十一音、俳句の五・七・五の十七音から、季節や風情、歌や句に込められた作者の思いなどを想像したり、七音五音を中心としたリズムから国語の美しい響きを感じ取りながら音読したり暗唱したりして、文語の調子に親しむことは重要である。

本問では、好きな俳句を学級で紹介するために、月の様子を詠んだ俳句をグループで調べ、その中から選んだ俳句について考えたことを交流する場面を設定した。ここでは、声に出して読みながら、二つの句に共通する表現の特徴、作者が捉えた情景や季節感を捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ア 伝統的な言語文化に関する事項

(ア) 易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。

■評価の観点

読む能力

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
4	一	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	◎
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	二	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

設問一については、「くりくり」という言葉の語感、アの俳句について調べた内容、【話し合いの様子】の内容から月の様子を捉えると、選択肢3が正答である。

設問二については、二つの俳句の情景や表現の特徴を踏まえた上で、【話し合いの様子】の内容に沿って、どのような観点で俳句を紹介しようとしているのかを捉えると、選択肢1が正答である。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25A⑥ アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する	47.7%	P. 30～P. 31	P. 43～P. 45

### 3. 学習指導に当たって

#### ○ 情景や作者の思いを想像する

俳句の五・七・五の十七音から、季節や風情、俳句に込めた思いなどを思い浮かべたり、七音五音を中心としたリズムから国語の美しい響きを感じ取りながら音読したり暗唱したりして、文語の調子に親しむことができるように指導することが大切である。そのためには、俳句に表れている情景や作者の思いなどについて感じたことを交流することで、自分が想像したことを広げたり深めたりすることが大切である。具体的には、好きな俳句を選んで俳句集を作るために、俳句を繰り返し音読したり、それぞれの俳句のよさについて話し合ったりすることなどが考えられる。

また、短歌や俳句の指導に当たっては、児童の発達の段階に応じた教材を選定するとともに、各地域にゆかりのある歌人や俳人、地域の景色を詠んだ歌や句などを教材として開発することなども有効である。このような教材を基に、選集を編んだり、心に残る短歌や俳句などを暗唱して紹介したりする学習を行うことなども考えられる。そのような学習経験を踏まえて、高学年においては、短歌や俳句をつくるという学習を行うことも考えられる。特に、俳句をつくる際には、歳時記や季寄せを参考にして、自分が使ってみたい季語を集めたり、様々な俳句を音読したりしながら、自分が句にしたい題材を見付けることなども考えられる。

さらに、高学年における古典の指導に当たっては、中学校第1学年でどのような古典の学習をするのかを踏まえることが重要である。小学校段階では、指導のねらいに応じて、複数の俳句を比べ、それぞれの俳句の特徴に気付くことができるようにするなど、言葉のもつ豊かさや多様性を感じることができるよう指導することが大切である。

(参照)「言語活動事例集【小学校版】」P. 43～P. 44

### 4. 出典等

・監修 坪内稔典『くもんのまんがおもしろ大事典 教科書に出てくる俳句』

(1988年12月 くもん出版)

・文 石塚修 絵 宮坂栄一『まんが俳句なんでも事典』

(1996年1月 株式会社 金の星社)

などによる。



## 国語A 5 ことわざカードを作る

3 もちはもち屋と言いうように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだ方がよい。

2 もちはもち屋と言いうように、卓球の審判なら卓球クラブの友達にたのむ方がよい。

1 もちはもち屋と言いうように、人の好みはいろいろで、しゅみはいろいろあった方がよい。

**もちはもち屋**

(意味) 何事も、それぞれのせん門家や得意な人にまかせるのが一番だ。

(使い方の例)

イ

3 一本めと二本めのシユートは外れたけど、次は決まるよ。三度目の正直だよ。

2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。三度目の正直だね。

1 どんなに得意なことでも、時には失敗することもあるよ。三度目の正直だよ。

**三度目の正直**

(意味) 一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ。

(使い方の例)

ア

5 古川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次のア・イに入ることわざの使い方の例として最も適切なものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

**イ**

**ア**

### 1. 出題の趣旨

ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができるかどうかをみる。

ことわざは、生活経験などにおいてありがちなことを述べたり、教訓を述べたりするものであり、先人の知恵や教訓、機知に触れることができる。言語生活を豊かにするために、ことわざや慣用句、故事成語などの意味を正しく理解し、実際の言語生活において用いることは大切である。

本問では、二つのことわざを取り上げ、それぞれの意味を辞書で調べ、ことわざカードを作る場面を設定した。ここでは、ことわざの意味を理解し、自分の表現に用いることができることが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ア 伝統的な言語文化に関する事項

(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。

#### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
5	ア	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	イ	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

アの「三度目の正直」とは、「一度目や二度目はあてにならないが、三度目では確実である」、「物事は三度目には期待どおりになる」という意味である。ここでは、「三度目の正直」の意味を「一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ」とまとめている。ここでの「一度や二度で思い通りにならな(い)」とは、「一本めと二本めのシュートは外れた」ことであり、「三度目ではうまくいく」のは「次は決まる」ということである。このことから、正答は選択肢**3**である。

イの「もちもち屋」とは、「物事は、それぞれの専門家が一番である」、「物事にはそれぞれの専門家がある」という意味である。ここでは、「もちもち屋」の意味を「何事も、それぞれのせん門家や得意な人にまかせるのが一番だ」とまとめている。ここでの「せん門家や得意な人」というのは、「卓球クラブの友達」のことであり、「まかせるのが一番」とは「たのむ方がよい」ということである。このことから、正答は選択肢**2**である。

#### (参考)

#### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A 8	日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える	79.9%	P. 32～P. 33	P. 139～P. 140
H25A 2-	ことわざの意味として適切なものを選択する(石の上にも三年)	71.3%	P. 17～P. 19	P. 27～P. 29
H25A 2=	ことわざの意味として適切なものを選択する(急がば回れ)	86.2%	P. 17～P. 19	P. 27～P. 29
H26A 2-	故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)	56.0%	P. 17～P. 18	P. 27～P. 29
H26A 2=	故事成語の使い方として適切なものを選択する(百聞は一見にしかず)	50.1%	P. 17～P. 18	P. 27～P. 29

(参照)「平成26年度【小学校】授業アイディア例」P. 7

### 3. 学習指導に当たって

#### ○ ことわざの意味や使い方を正しく理解し、実際の言語生活で用いる

ことわざの意味や使い方を正しく理解するためには、国語辞典やことわざ辞典などを日常的に活用できるように指導することが大切である。特に、辞書利用について学習する第3学年の段階から意図的、計画的に指導する必要がある。

具体的には、本や文章の中で使われていることわざを集め、辞書などを用いてその意味や用例などを調べた上で、そのことわざを適切に用いた文を作っかるたを作成するなどの学習が考えられる。その際、低学年の児童とかるた遊びをしながら、ことわざの意味や用例などについて、低学年の児童に分かりやすく説明する学習を行うことも考えられる。また、スピーチや日記などの中で実際にことわざを用いて表現する学習などに取り組むことが考えられる。



## 国語 A 6 古文を音読して楽しむ

6

谷川さんは、歌舞伎の作品「外郎売」を音読して、気がついたことをノートにまとめています。次は、音読した「外郎売」の「部」と「ノートの一部」です。谷川さんが気がついたことの説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【「外郎売」の一部】

がらびいがらびい風車  
おきやがれこぼし  
おきやがれこぼし  
ゆんべもこぼして  
またこぼした  
たあぶばば たあぶばば  
ちりから ちりから  
つつたつば

【ノートの一部】

○音読して、気がついたこと

- ・くりかえしが多い。
- ・似ている言葉がある。
- ・早口言葉のようでおもしろい。
- ・拍子を取りたくなる。

※1「歌舞伎」……約四百年前に始まった演劇

※2「外郎売」……「外郎」という漢方を売り歩く人

- 1 使われている言葉やリズム、声に出したときの感じをまとめている。
- 2 言いかえが多いので、意味がとらえにくくなっていることをまとめている。
- 3 昔の人々の声の出し方のちがいに注目して、昔と今のちがいをまとめている。
- 4 くりかえし出てくる言葉を、どのように読むと分かりやすいかをまとめている。

### 1. 出題の趣旨

古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことができるかどうかをみる。

古文や漢文などの文章には、独特のリズムや長い年月を経て培われてきた美しい語調が備わっており、音読することにより、その美しさや楽しさを感覚的に味わうことができるように指導することが重要である。

本問では、歌舞伎の作品である「外郎売」を音読して気が付いたことをノートにまとめる場面を設定した。ここでは、声に出して読むことで感じられる言葉の響きやリズムなどについて、楽しみながら読むことが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ア 伝統的な言語文化に関する事項

(ア) 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。

#### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

## 2. 解説

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
6	1	1 と解答しているもの	◎
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	
	4	4 と解答しているもの	
	9	上記以外の解答	
	0	無解答	

#### ■正答について

【ノートの一部】では、谷川さんが【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことについて、まとめられている。音読して気が付いたこととしては、使われている言葉に着目したり、「早口言葉のようでおもしろい」、「拍子を取りたくなる」など、声に出したときの感じをまとめたりしている。このことから、正答は選択肢 1 である。

## 3. 学習指導に当たって

### ○ 音読することで、古文の楽しさを実感する

古文や漢文などは、読んで楽しいものであること、自分を豊かにするものであることを実感することができるように指導することが重要である。そのためには、古文や漢文などの文章の解釈に重点を置くのではなく、できるだけ多くの文章に触れていく中で、自然と興味・関心をもてるようにすることが大切である。

教材は、児童が、言葉のリズムを実感しながら読めるもの、音読することによって内容の大体を知ることができるものを選定することが大切である。また、文語調の文章で作詞されている校歌、各地域に縁のある文人の作品など、児童にとって親しみやすいものを教材にすることが考えられる。

具体的には、本問のように、音読や暗唱を取り入れることが考えられる。その際、音読することによって味わえるリズムや響きを一層実感することができるようにするために、黙読と音読とを交互に行い、その違いに気付くことができるようにすることが効果的である。また、児童が選んだ古文を音読して紹介し合い、複数の古文や様々な言葉のリズムに触れることができるようにすることも考えられる。

(参照)「言語活動事例集【小学校版】」P. 53～P. 54

## 4. 出典等

- ・絵・長野ヒデ子 編・齋藤孝『声にだすことばえほん 外郎売』  
(2009年4月 株式会社ほるぷ出版)
  - ・編者 鶴見俊輔 安野光雅 森毅 井上ひさし 池内紀『ことばの国〈新・ちくま文学の森14〉』(1995年10月 株式会社 筑摩書房)
  - ・著者 室町京之介『新版 香具師口上集』(1997年12月 株式会社 創拓社出版)
- などによる。

## 国語A 7 漢字を読んだり書いたりする

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

1 日時 2月19日(月)～2月22日(木)  
10時25分から10時45分まで

2 集合場所  
多目的ルーム

3 参加 たいしょう  
(1) 4年生の きぼう者  
(2)

4 申し込み 期限と申し込み方法  
(3)  
・ 2月14日(水)までに申しこんでください。  
・ 事務室前に申し込み用紙と箱が おいてあり  
(4) ます。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れ  
(5) てください。

5 お願い  
・ 当日は、全員が体験できるように、放送委員の  
(6) 指示にしたがってください。

7

いに書きましょう。部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれでいね

### 1. 出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

漢字を正しく読み、正しく書く力は、文や文章を理解したり表現したりするために必要な知識や技能であり、漢字を含む語彙の充実を図る上でも重要である。また、国語科の学習のみならず、各教科等の学習の基礎となる力であり、日常生活に欠かせない知識や技能である。

本問では、既習の漢字の定着状況を把握するために、第2学年(「室」)、第3学年(「対」, 「期」, 「事」, 「指」)、第4学年(「象」, 「希」, 「望」, 「置」)、第5学年(「限」, 「務」, 「示」)の配当漢字を取り上げた。ここでは、4年生に向けて「委員会活動の体験のお知らせ」を作成する場面を設定している。漢字を正しく読んだり書いたりするためには、「お知らせ」の内容や書かれている文の意味を理解することが必要となる。国語科の学習のみならず、日常生活においても文の意味を理解した上で、漢字を正しく読んだり書いたりすることが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ウ 文字に関する事項

(ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
7	(1)	1 「対象」と解答しているもの	◎
		2 「たい」を「対」と解答しているが、「しょう」を「照」と解答しているもの	
		3 「たい」を「対」と解答しているが、「しょう」を「象」、「照」と解答していないもの	
		4 「たい」を「対」と解答していないが、「しょう」を「象」と解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
	(2)	1 「希望」と解答しているもの	◎
		2 「き」を「希」と解答しているが、「ぼう」を「望」と解答していないもの	
		3 「き」を「希」と解答していないが、「ぼう」を「望」と解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
	(3)	1 「きげん」と解答しているもの	◎
		2 「期」を「き」と解答しているが、「限」を「げん」と解答していないもの	
		3 「期」を「き」と解答していないが、「限」を「げん」と解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
	0 無解答		
	(4)	1 「じむしつ」と解答しているもの	◎
		2 「事務」を「じむ」と解答しているが、「室」を「しつ」と解答していないもの	
		3 「事」を「じ」、「室」を「しつ」と解答しているが、「務」を「む」と解答していないもの	
		4 「務」を「む」、「室」を「しつ」と解答しているが、「事」を「じ」と解答していないもの	
		5 「事」を「じ」と解答しているが、「務」を「む」、「室」を「しつ」と解答していないもの	
		6 「務」を「む」と解答しているが、「事」を「じ」、「室」を「しつ」と解答していないもの	
		7 「室」を「しつ」と解答しているが、「事」を「じ」、「務」を「む」と解答していないもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
		(5)	
	9 上記以外の解答		
	0 無解答		
(6)	1 「しじ」と解答しているもの	◎	
	2 「指」を「し」と解答しているが、「示」を「じ」と解答していないもの		
	3 「指」を「し」と解答していないが、「示」を「じ」と解答しているもの		
	9 上記以外の解答		
	0 無解答		

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 当該学年までに配当されている漢字を習得する

学年別漢字配当表に示されている漢字を、各学年において正しく読んだり書いたりし、各教科等や日常生活で使用する文や文章の中で適切に使うことができるように指導することが重要である。

そのためには、学習した漢字を繰り返し書いて練習することのみならず、様々な場面で、漢字のもつ意味を考えながら、実際に文や文章の中で正しく使うことができるように指導することが大切である。本問で取り上げたように、「対象」、「対照」などの同音異義語に注意して使うことができるように指導することも大切である。

#### (2) 国語辞典や漢字辞典の利用を習慣付ける

漢字を習得し語彙を拡充するためには、国語辞典や漢字辞典を日常的に利用して調べる習慣を付けることが重要である。そのためには、辞書利用について学習する第3学年から意図的・計画的に指導する必要がある。辞書を日常的に活用するために、必要なときにはいつでも辞書が手元にあり使えるような言語環境をつくっておくことが大切である。また、国語科の学習のみならず、他教科等の調べる学習や日常生活の中でも積極的に辞書を利用し、語彙を広げ、漢字を正しく表記できるように指導することが大切である。

### Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

#### B 主として「活用」に関する問題

# 国語B 1 スピーチの練習をする（「折り紙」の紹介）

私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

他にも、「風船」、「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作ると楽しいです。

折り紙のみりよくは、色や 모양がきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができます。私は思います。

このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。  
これで、折り紙の紹介を終わります。

私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。

【スピーチの練習の様子】（動画で記録したもの）

- 【スピーチメモ】
- 1 折り紙とは（紙を折って、いろいろな形を作る遊び）
  - 2 自分の経験（実際に「つる」を見せる）
  - 3 折り紙の例（「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など）
  - 4 折り紙のみりよくとは（色や 모양がきれいな紙を折って、いろいろな形を作る）
  - 5 まとめ（体験コーナーのようかい）



1

石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」【スピーチの練習の様子】（グループの話し合いの様子）です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。



## 1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、自分が伝えたいことについて、的確に話すことができるかどうかをみる。

目的や意図に応じ、自分の考えや伝えたいことなどについて、的確に話すことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても重要である。

本問では、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するため、友達に助言してもらいながら、スピーチの練習をする場面を設定した。ここでは、動画を見てスピーチを振り返り、適切な言葉遣いで話すことができているかを捉えること、スピーチメモを使って話すことのよさを捉えること、友達の助言を受け、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことが求められる。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことができるかどうかをみる。

本設問では、スピーチの練習の様子を記録した動画を用いて、スピーチを振り返る場面を設定した。ここでは、伝える相手が日本語を学んでいる外国の人であるということを踏まえ、場に応じた適切な言葉遣いになっているのかどうかを確かめるために動画を見るということを捉えることが求められる。

なお、本設問では、「場に応じた適切な言葉遣い」として、日本語を学んでいる外国の人に分かりやすく伝えるために、適切な速度で話すということを取り上げている。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

### ■評価の観点

話す・聞く能力

## 解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
1	-	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

【グループの話し合いの様子】の中で、石田さんは、「全体的に早口になっているように思うので、そこを直したいな」と発言しており、その発言を受けて動画を見ている。また、動画を見た後、上野さんは、「日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね」と発言している。これらを踏まえると、石田さんのグループでは、動画を見て、相手に応じた速度で話すことができていたかを確かめたと捉えることができる。このことから、正答は選択肢3である。

(参考)

### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25A 7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	43.5%	P. 32～P. 33	P. 46～P. 48
H25B 1-	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	78.9%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B 1=	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	48.8%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B 1≡	川本さんの助言についての説明を書く	67.3%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55

(参照)「平成25年度【小学校】授業アイディア例」P. 9～P. 10

## 設問二

### 趣旨

話の構成を工夫して話したり、聞き手の反応を見て話したりすることができるなどのスピーチメモのよさを捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、【グループの話し合いの様子】において、【スピーチメモ】を使うことのよさについて話し合う場面を設定した。ここでは、スピーチメモを使うことによって、話のまとまりや順序を意識して話したり、聞き手の反応を見て話したりすることができるようになることを捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型	正答
①	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 次のa, bの両方, またはどちらか一方を使って書いている。 a 「話のまとまりと順序を意識して話す」 b 「相手の反応を見て話す」 ② 40字以内で書いている。	
		1 条件①, ②を満たしているもののうち, 条件①については, a, bの両方を使って書いているもの (例) ○ 話のまとまりと順序を意識して話したり, 相手の反応を見て話したりすることができる。(40字)	◎
		2 条件①, ②を満たしているもののうち, 条件①については, aのみを使って書いているもの (例) ○ 話のまとまりと順序を意識して話すことができる。(23字)	◎
		3 条件①, ②を満たしているもののうち, 条件①については, bのみを使って書いているもの (例) ○ 相手の反応を見て話すことができる。(17字)	◎
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	

■正答について

【グループの話し合いの様子】の中で, 【スピーチメモ】を使うことのよさについて発言しているところに着目する必要がある。具体的には, 上野さんの「スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな」という発言と, それに対する石田さんの「うん, できていたと思うよ。それに, 必要なときにだけメモを見ればよかったから, 相手の反応を見て話すこともできたと思う」, 北川さんの「確かにできていたね」という発言である。これらの発言を踏まえ, 「話のまとまりと順序を意識して話す」, 「相手の反応を見て話す」ということについて書く必要がある。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25A <sup>7</sup>	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	43.5%	P. 32～P. 33	P. 46～P. 48
H25B <sup>1</sup> ー	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	78.9%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B <sup>1</sup> ニ	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	48.8%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B <sup>1</sup> 三	川本さんの助言についての説明を書く	67.3%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55

(参照)「平成25年度【小学校】授業アイデア例」P. 9～P. 10

**設問三**

趣旨

目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことができるかどうかをみる。

本設問では、【グループの話し合いの様子】において、友達の助言を受け、自分が一番伝えたいことが伝わるように、スピーチの内容を見直す場面を設定した。ここでは、友達の助言を取り入れながら、目的や意図に応じて、自分の伝えたいことが伝わるように話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話すことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

話す・聞く能力

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
① 三	<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 折り紙のみりよくについて、以下の内容を取り上げて書いている。 a 【スピーチメモ】から取り上げている。 b 【グループの話し合いの様子】で出された意見から取り上げている。</p> <p>② スピーチとしてふさわしい言葉遣いで書いている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて、80字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (「折り紙のみりよくは、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) 色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることや、紙一まいから立体的な形ができること、組み合わせて形をつなげられることだと、わたしは思います。(92字)</li> <li>・ 色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることや、どこでも手軽にできることです。他にも、自分で作り方をくふうできることなども、みりよくだと思います。(95字)</li> </ul>	
1	条件①a, bの両方と条件②, ③を満たしているもの	◎
2	条件①a, bの両方と条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
3	<p>条件①a, bは満たしているが、条件②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ったり、どこでも手軽にできたりすることだね。紙一まいから立体的な形ができたり、組み合わせて形をつなげられたりすることもあるよ。(99字)</p> <p>→上記の例は、スピーチとしてふさわしい言葉遣いで書いていない。</p>	
4	<p>条件①a, ②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることや、自分で作り方をくふうできることです。(64字)</p> <p>→上記の例は、折り紙のみりよくについて【グループの話し合いの様子】で出された意見から取り上げて書いていない。</p>	
5	<p>条件①b, ②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ どこでも手軽にできること、紙一まいから立体的な形ができること、組み合わせて形をつなげられることだと思います。(65字)</p> <p>→上記の例は、折り紙のみりよくについて【スピーチメモ】から取り上げて書いていない。</p>	
6	<p>条件①aは満たしているが、条件①b, ②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと思うよ。(50字)</p> <p>→上記の例は、折り紙のみりよくについて【グループの話し合いの様子】で出された意見から取り上げておらず、スピーチとしてふさわしい言葉遣いで書いていない。</p>	

7	<p>条件①bは満たしているが、条件①a、②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>○ どこでも手軽にできることや紙一まいから立体的な形ができるということ、組み合わせて形をつなげられることだと思ふんだ。(68字) →上記の例は、折り紙のみりよくについて【スピーチメモ】から取り上げておらず、スピーチとしてふさわしい言葉遣いで書いていない。</p>
8	<p>条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもののうち、折り紙のみりよくとして考えられることについて書いているもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ おじいさんやおばあさんに折り方を教えてもらうことができるということです。(47字) →上記の例は、折り紙のみりよくとして考えられることについて書いているが、折り紙のみりよくについて【スピーチメモ】と【グループの話し合いの様子】で出された意見から取り上げていない。</p>
9	上記以外の解答
0	無解答

### ■正答について

石田さんが折り紙の魅力として考えていた「色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができる」ということに加えて、【グループの話し合いの様子】で出された折り紙の魅力について書く必要がある。【グループの話し合いの様子】で出された魅力としては、「どこでも手軽にできること」、「紙一枚から立体的な形ができるということ」、「『手裏剣』のように、組み合わせて形をつなげられること」がある。これらの意見を踏まえ、折り紙の魅力について、スピーチとしてふさわしい言葉遣いで書く必要がある。その際、スピーチとして適切な時間の中で話すということに留意する必要がある。

### (参考)

#### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25A 7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	43.5%	P. 32～P. 33	P. 46～P. 48
H25B 1ー	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	78.9%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B 1ニ	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	48.8%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B 1三	川本さんの助言についての説明を書く	67.3%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55

(参照)「平成25年度【小学校】授業アイディア例」P. 9～P. 10

### 3. 学習指導に当たって

#### ○ 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話す

目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話すためには、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができるようにする必要がある。話の構成や内容を工夫するためには、自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすることなどについて指導することが大切である。また、場に応じた適切な言葉遣いで話すためには、声量や速度、抑揚や間の取り方、改まった言葉や丁寧な言葉、敬体と常体との使い分けなど、その場に応じた最も適切な表現の仕方について指導することが大切である。言葉遣いは、音声の使い方、語や文、表情、仕草など広い範囲に及ぶことにも留意し、指導する必要がある。

具体的には、本問のように、自分や友達の発表の様子を動画で撮影し、観点に沿って振り返ることができるように指導することが考えられる。その際、目的や意図、指導のねらいなどに応じて、話の構成や内容、話し方についてなど振り返るための観点を明確にすることが大切である。

また、本問のように、スピーチメモを活用して話すことができるようにすることが考えられる。まず、目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、話の要点を短い言葉で順序立てて記述したメモを作成することができるように指導する。そして、そのメモを基に、話のまとめや順序を意識するとともに、相手の反応を見て話すことができるように指導する。その際、相手の理解をより促すために、他の事例を加えたり、別の言葉に置き換えたりして説明するなど、相手の反応に応じて思考を働かせながら話すことができるようにすることが大切である。



国語B 2 協力を依頼する文章を書く（緑のカーテン作りへの協力のお願い）

【緑のカーテン作りへの協力のお願い】

2

緑のカーテン作りへの協力のお願い

6年1組 森・中村・秋山

緑のカーテンとは

夏が来ると、教室が暑くなってこまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作ることにしました。

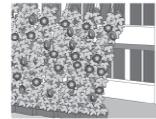
緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日ざしをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。

中には布のカーテンをしめればよいという人もいますが、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げるすることができます。例えば、『緑のカーテンを始めよう』という本には、「ア」と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのくふうの一つなのです。

緑のカーテンの作り方

わたしたちは、できれば1階から3階までの全教室をおおうように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。

- 1 大きな植木ばらを用意し、肥料と土を入れて1階に置く。
- 2 1階から3階までネットをはる。
- 3 アサガオの種をまく。
- 4 たくさんの水をやる。
- 5 一番太いつるが1mぐらいになったら先の芽を切る。
- 6 芽が分かれてのびてきたらネットにまきつける。
- 7 7月になったら肥料を追加する。



水やりに協力してくれる人をほ集めます

森さんたちは、「緑のカーテン」を作るため、同じ学年の友達に協力してほしいと思います。次の「緑のカーテン作りへの協力のお願い」を書いていきます。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

一 森さんたちは緑のカーテンを知らない人にも、緑のカーテンが必要な理由を伝えようと、文章の構成をくふうしました。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 夏の教室が暑いとどう困るのかの具体例を、最初に書いている。
- 2 最初と最後の段落に、水やりに協力してほしいということを書いている。
- 3 緑のカーテンの作り方について要約した文章を、最初に書いている。
- 4 緑のカーテンの説明を、緑のカーテンの作り方の前に書いている。

二 森さんたちは、次の【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために、本から文を引用して「ア」の部分を書きました。引用するのに最も効果的な文を、あとの【緑のカーテンを始めよう】の「一部」の①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【友達の考え】

緑のカーテンでどれぐらい涼しくなるのかなあ。私は布のカーテンをしめればだいじょうぶだと思っよ。



【「緑のカーテンを始めよう」の一部】 文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

① 緑のカーテンは外から部屋に入ってくる熱をどれぐらい防ぐことができるのでしょうか。  
 ② 緑のカーテンでおおった場合と、布のカーテンをしめた場合とで比べてみました。③ 実験から、布のカーテンでは熱の3割しか防ぐことができませんが、緑のカーテンでは8割も防ぐことができますことが分かりました。④ 緑のカーテンでおおうことによって、冷房の設定温度を上げることもできます。

三 森さんたちは、緑のカーテンを作ったことのある中学生からの【アドバイス】をもとに、【緑のカーテン作りへの協力をお願い】の中を書いています。次の【イ】の中の内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

【アドバイス】

去年、わたしたちも緑のカーテンを作ったよ。おかげですずしい夏が過ごせたんだ。でも、水やりがとても大変だったなあ。  
 まず、毎朝水をやらないとすぐにかれてしまうんだ。朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらしおれかけていたこともあったよ。  
 それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。  
 水やりは大変だったけれど、すずしい夏が過ごせて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。  
 何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。



水やりに協力してくれる人をぼ集めます

大きな緑のカーテンを作るためには水やりが大切です。しかし、水やりはとても大変です。なぜなら、

イ

このように水やりはとても大変なので、たくさんの人の協力が必要です。協力してくれる人はわたしたちに声をかけてください。ぜひいっしょに大きな緑のカーテンを完成させ、全校ですずしい夏を過ごましよう。

〈条件〉

- 水やりが大変な理由を【アドバイス】から二つ取り上げて書くこと。
- 【緑のカーテン作りへの協力をお願い】にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、三十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

なぜなら、	◆
30字	
60字	

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。  
 ※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

## 1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して、協力を依頼する文章を書くことができるかどうかをみる。

立場や考えの異なる相手に対して、自分の考えを的確に伝えるためには、多様な情報を取捨選択し、筋道を立てて説明する能力を育成することが重要である。

本問では、緑のカーテンを作るために学年の友達に協力を依頼する文章を書く場面を設定した。ここでは、協力を依頼する文章の構成を考えること、読み手を説得するための引用の効果を考えること、目的や意図に応じ、【アドバイス】の内容を生かして、協力を依頼する文章を書くことが求められる。

なお、設問二については、平成25年度【小学校】国語B<sup>2</sup>（正答率26.5%）において、「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くこと」に、設問三については、平成27年度【小学校】国語B<sup>1</sup>（正答率34.9%）において、「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと」に、それぞれ課題が見られたことを踏まえて出題した。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができるかどうかをみる。

本設問では、伝える相手が明確な場合に、相手に分かりやすく伝えることができるように、文章全体の構成を考える場面を設定した。

ここでは、緑のカーテンを知らない人に、緑のカーテンが必要な理由を伝えるため、緑のカーテンとはどのようなものを分かりやすく説明する必要があることを捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

### ■評価の観点

書く能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答
2	-	1	1 と解答しているもの		◎
		2	2 と解答しているもの		
		3	3 と解答しているもの		
		4	4 と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

### ■正答について

【緑のカーテン作りへの協力のお願い】の「緑のカーテンとは」、「緑のカーテンの作り方」という見出しに着目した上で、緑のカーテンが必要な理由を伝えるために、どのような文章全体の構成になっているかを捉える必要がある。森さんたちは緑のカーテンを知らない人のために、緑のカーテンの作り方の説明の前に、緑のカーテンの定義や効果を書いているため、選択肢4が正答である。

(参考)

### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H27B 1-	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	74.7%	P. 36～P. 43	P. 48～P. 55
H28B 2≡	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	58.5%	P. 44～P. 51	P. 60～P. 69

## 設問二

### 趣旨

目的や意図に応じ、引用して書くことができるかどうかをみる。

本設問では、緑のカーテンの効果に疑問をもっている友達を説得するため、引用して書く場面を設定した。ここでは、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】の①から④までの文の中から、引用するのに最も効果的な文を捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

### ■評価の観点

書く能力

## 解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
2	二	1	① と解答しているもの	◎
		2	② と解答しているもの	
		3	③ と解答しているもの	
		4	④ と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

緑のカーテンの効果に疑問をもち、布のカーテンでもよいのではないかと考えている友達を説得するためには、緑のカーテンの効果について根拠を明確にして説明する必要がある。自分の考えを補説する目的で引用する場合、実験結果などの事実、具体的な事物や出来事を記述することなどが考えられる。本設問では、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】の③の文には、布のカーテンと緑のカーテンを比較した実験の結果が数値を用いて書かれている。また、④の文には、緑のカーテンの効果については書かれているが、布のカーテンと比較した効果として書かれていないため、【友達の考え】と同じ考えの人を説得する内容としては十分ではない。以上のことから、正答は③である。

(参考)

### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24B 2二	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	52.9%	P. 44～P. 51	P. 153～P. 161
H25A 4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	72.6%	P. 25～P. 27	P. 36～P. 39
H25A 4イ		71.5%	P. 25～P. 27	P. 36～P. 39
H25A 4ウ	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く	45.1%	P. 25～P. 27	P. 36～P. 39
H25B 2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	26.5%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64
H25B 2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	17.9%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64
H27B 2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	41.8%	P. 44～P. 52	P. 56～P. 64
H28B 2一	「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	43.5%	P. 44～P. 51	P. 60～P. 69
H28B 2二 (1)	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く	51.5%	P. 44～P. 51	P. 60～P. 69
H28B 2二 (2)	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く	64.4%	P. 44～P. 51	P. 60～P. 69

(参照) 「平成24年度【小学校】授業アイデア例」P. 3～P. 4

「平成25年度【小学校】授業アイデア例」P. 11～P. 12

「平成27年度【小学校】授業アイデア例」P. 6

「平成28年度【小学校】授業アイデア例」P. 6

### 設問三

#### 趣旨

目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができるかどうかをみる。

本設問では、中学生からの【アドバイス】を基にして、水やりに協力してくれる人を募集する文章を書く場面を設定した。ここでは、【アドバイス】から水やりが大変な理由を捉えた上で、その理由を取り上げて協力を依頼することができるように書くことが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

#### ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度  
書く能力

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
②	三	
	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 水やりが大変な理由について、【アドバイス】の中の以下の内容を取り上げて書いている。 a 毎朝水をやること b たくさんの植木ばちに水をやること ② 【緑のカーテン作りへの協力をお願い】にふさわしい表現で書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、30字以上、60字以内で書いている。	
	(正答例) ・ 「なぜなら、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) 毎朝水をやらないといけないし、大きな緑のカーテンを作るために、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるからです。(60字) ・ 毎朝たくさんの植木ばちに水をやる必要があるからです。(31字)	
1	条件①a, bの両方と、条件②, ③を満たしているもの	◎
2	条件①a, bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
3	条件①a, bは満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 毎朝水をやること。たくさんの植木ばちに水をやること。(31字) →上記の例は、【緑のカーテン作りへの協力をお願い】にふさわしい表現で書いていない。	
4	条件①a, ②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 毎朝、かれないように、水をやらないといけないからです。(32字) →上記の例は、理由として「たくさんの植木ばちに水をやること」を取り上げて書いていない。	

5	<p>条件①b, ②は満たしているが, 条件①aは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるからです。(46字)</p> <p>→上記の例は, 理由として「毎朝水をやること」を取り上げて書いていない。</p>	
6	<p>条件①aは満たしているが, 条件①b, ②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 毎朝水をやらないと、すぐにかれてしまうよ。(26字)</p> <p>→上記の例は, 理由として「たくさんの植木ばちに水をやること」を取り上げて書いておらず, 【緑のカーテン作りへの協力のお願い】にふさわしい表現で書いていない。</p>	
7	<p>条件①bは満たしているが, 条件①a, ②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるんだよ。(45字)</p> <p>→上記の例は, 理由として「毎朝水をやること」を取り上げて書いておらず, 【緑のカーテン作りへの協力のお願い】にふさわしい表現で書いていない。</p>	
8	<p>条件②は満たしているが, 条件①a, bは満たしていないもののうち, 水やりの大変さについて書いているもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 何度も水を運ぶことになるので、重いし疲れるからです。(31字)</p> <p>→上記の例は, 理由として「毎朝水をやること」と「たくさんの植木ばちに水をやること」を取り上げて書いていない。</p>	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

### ■正答について

この協力を依頼する文章が、「夏までに大きな緑のカーテンを作るために、多くの人の協力が必要であることを伝える」という目的で書かれていることを踏まえる必要がある。その上で、水やりが大変な理由を【アドバイス】の内容から二つ取り上げ、【緑のカーテン作りへの協力のお願い】の中の「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の イ の部分を、協力を依頼する文章にふさわしい表現で書く必要がある。

(参考)

### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span>	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	43.7%	P. 28～P. 31	P. 136～P. 138
H24B <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> ニ	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	55.5%	P. 38～P. 43	P. 144～P. 151
H25B <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> 三	川本さんの助言についての説明を書く	67.3%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> 一	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	64.0%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64

H26B <sup>2</sup> ニ	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	27.1%	P. 44～P. 51	P. 58～P. 68
H27B <sup>1</sup> ニ	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	71.0%	P. 36～P. 43	P. 48～P. 55
H27B <sup>1</sup> ニ	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	34.9%	P. 36～P. 43	P. 48～P. 55
H27B <sup>2</sup> ニ	【文章】の要旨をまとめて書く	78.6%	P. 44～P. 52	P. 56～P. 64

(参照)「平成24年度【小学校】授業アイデア例」P. 2

「平成25年度【小学校】授業アイデア例」P. 9～P. 10, P. 11～P. 12

「平成26年度【小学校】授業アイデア例」P. 11～P. 12

「平成27年度【小学校】授業アイデア例」P. 5

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 目的や意図に応じて、文章の構成を考えて書く (対応設問：設問一)

自分の考えを明確に伝えるためには、目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えて書くことが重要である。文章の種類や特徴を踏まえた上で、自分の考え及び相手の理解が明確になるように、文章の構成を工夫する必要がある。その際、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを考えたり、自分の考えを一貫して述べたりすることができるように指導することが大切である。また、書き出しに読み手の関心を喚起する事例を配置すること、読み手の理解を促すように概説や要約を活用すること、冒頭部や終結部の書き方を工夫することができるような学習を意図的、計画的に位置付けることも大切である。

#### (2) 説得力をもって自分の考えを伝えるため、引用して書く (対応設問：設問二)

説得力をもって自分の考えを伝えるためには、判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを述べることが重要である。その際、本や文章などから必要な語句や文を引用することができるように指導することが大切である。引用する場合は、まず何のために引用するのかという目的を明確にする必要がある。目的としては、本問のように、実験の結果などを紹介したり、自分の考えを補説したりするためなどが考えられる。

#### (3) 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く (対応設問：設問三)

読み手に自分の伝えたいことが分かるようにするためには、具体的な事実を基にしたり、複数の内容を関係付けたりしながら、必要な内容を整理して書くことが重要である。

具体的には、本問のように、目的や意図に応じて、取材の内容や方法を工夫し、書く事柄を収集した上で、その中から、具体的な事実と自分の感想、意見などを区別しながら必要な内容を整理して書くことができるように指導することが考えられる。

### 4. 出典等

- ・環境省 「グリーンカーテンプロジェクト」のウェブページ
- ・監修 菊本るり子『学校で育てる 緑のカーテン大百科 全3巻』『①グリーンパワーで節電』『②はじめての栽培と観察』『③収穫と広がるエコ活動』

(2013年2月 株式会社 学研教育出版)

などによる。

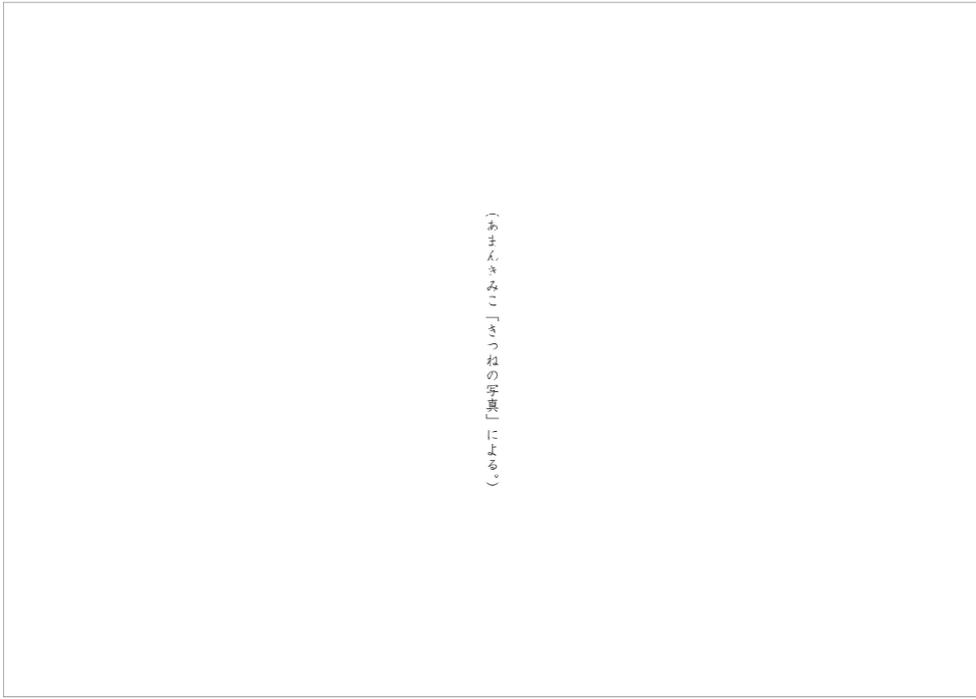
国語B 3 物語を読んで、感想を伝え合う（あまんきみこ「きつねの写真」）

3

大岩さんの学級では、あまんきみこさんが書いた「きつねの写真」という題名の物語を読み、それが考えたことについて、文筆中の表現を示しながら話し合っています。次は、「物語の一部」と話し合いの様子の一部です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ  
 こんざ山に、松ぞうじいさんという木こりが孫のとび吉と二人で住んでいました。そこに、山野さんという新聞記者がきつねの写真をとりに来ました。

【物語の一部】①・②・③・④・⑤の内容は、あとの【話し合いの様子の一部】で取り上げられます。



（あまんきみこ「きつねの写真」による。）

（あまんきみこ「きつねの写真」より）

【話し合いの様子の一部】

横山 あまんきみこさんの「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。  
 原 (③を示しながら)「あたりの木がいつせいにぎざざとゆれてよびました」というところで

大岩 A 感じがすると思っただけと。

田中 A ことといえば、松ぞうじいさんととび吉はきつねだったのかな。

原 二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きつねだよ。

田中 どこからそう思うの?

原 (④を示しながら)「山野さんは、むかいあたりをばちりどうっしました」とあるでしょ。

横山 そうだね。それに、(⑤を示しながら)「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。

原 二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。

大岩 きつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあんな。

田中 (②を示しながら)「ここで、松ぞうじいさんが「ういてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけど、どうかな。

原 私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことではないのかな。

田中 そうそう。

横山 (①を示しながら)「ここにもあるよ。」「人間にうちどられたり」と書いてあるけれど

もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちどられた」とは言わ

いと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。

田中 そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

5 (話し合いが続く) 5

B

一 【話し合いの様子の一部】の A の中に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 にぎやかな
- 2 不思議な
- 3 かわいそうな
- 4 親切な

二 【話し合いの様子の一部】の中の……部ア・イの発言は、この話し合いの中で、それぞれどのような意図がありますか。最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 考えのもととなる文章中の表現を明らかにしようとしている。
- 2 言葉の意味が理解できず、その意味を知ろうとしている。
- 3 今まで出ていない考えを引き出そうとしている。
- 4 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしている。

三 【話し合いの様子の一部】の中の B のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- の横山さんのように、「物語の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内まとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。  
※印から書きましよう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましよう。

100字 60字

## 1. 出題の趣旨

物語を読んで考えたことを発表し合い、叙述を基に自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

物語などを読む際は、時間や場所、問題状況などの設定、情景や場面の様子の変化、主人公などの登場人物、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決などの基本的な構成要素を理解した上で、想像を豊かにしながら、読むことが大切である。

本問では、あまんきみこが書いた「きつねの写真」という物語を読み、感想を伝え合う場面を設定した。ここでは、自分の考えが、どの叙述に基づいているか、自分の経験などどう結び付いているのかを明らかにしながら話し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができるようにすることが求められる。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では，【物語の一部】を読んだ後，【話し合いの様子の一部】のように，心に残ったところを伝え合う場面を設定した。ここでは，【物語の一部】を読んで，登場人物の相互関係や場面についての描写を捉えることが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。

#### ■評価の観点

読む能力

#### 解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
③	—	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

【話し合いの様子の一部】の中の二つの **A** に当てはまる言葉を，【物語の一部】の「あたりの木がいっせいにざざっとゆれてよびました」という場面についての描写や松ぞうじいさんととび吉の相互関係から捉えると，選択肢 **2** が正答である。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25B <sup>3</sup> ー ア	【本間さんが書いたすいせん文】において 推薦している対象を書く	50.0%	P. 50～P. 55	P. 65～P. 70
H25B <sup>3</sup> ー イ	【花田さんが書いたすいせん文】において 推薦している理由を書く	45.4%	P. 50～P. 55	P. 65～P. 70
H25B <sup>3</sup> ー ウ	【本間さんが書いたすいせん文】において 推薦している理由を書く	44.8%	P. 50～P. 55	P. 65～P. 70
H26A <sup>5</sup>	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く	65.5%	P. 24～P. 26	P. 35～P. 37
H27A <sup>6</sup>	登場人物の関係についての説明として適切 なものを選択する	67.7%	P. 28～P. 30	P. 41～P. 43

(参照) 「4年間のまとめ【小学校編】」 P. 8～P. 9

「平成25年度【小学校】授業アイデア例」 P. 13～P. 14

「平成26年度【小学校】授業アイデア例」 P. 8

## 設問二

### 趣旨

自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、【物語の一部】を読んだ後、【話し合いの様子の一部】のように、「松ぞうじいさんととび吉はきつねだったのか」という疑問に対する自分の考えを伝え合う場面を設定した。ここでは、話し合いの中の発言の意図を捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

### ■評価の観点

読む能力

### 解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
③	二	1 アに1、イに4と解答しているもの	◎
	2 アに1と解答しているが、イに4と解答していないもの		
	3 イに4と解答しているが、アに1と解答していないもの		
	9 上記以外の解答		
	0 無解答		

### ■正答について

【話し合いの様子の一部】においては、松ぞうじいさんととび吉はきつねだったのかについて話し合っている。原さんの発言について、どのような意図があるのかを捉える必要がある。

【話し合いの様子の一部】の中で、原さんは、田中さんの「二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きつねだよ」という発言に対して、ア「どこからそう思うの」と質問している。これに対し、田中さんは、自分の考えの根拠となる叙述について説明している。このことから、選択肢1が正答である。

また、原さんは、田中さんの「ここで、(中略)ところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけど、どうかな」という発言に対し、田中さんの考えについて自分の理解が正しいかどうか確かめるために、イ「田中さんの言いたいことはそういうことでもいいのかな」と質問している。これに対し、田中さんは、「そうそう」と、原さんの理解が正しいことを認めている。このことから、選択肢4が正答である。

### 設問三

#### 趣旨

物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本設問では，【物語の一部】を読んだ後，【話し合いの様子の一部】のように，感想を伝え合う中で，叙述を基に理由を明確にして自分の考えを書く場面を設定した。ここでは，松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけについて，具体的な叙述を基にどのように解釈したのかを書くことが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想，意見などを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

#### ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
③ 三	<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 「……」の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。</p> <p>② 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書いている。</p> <p>③ 60字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました」というところは、人間にうちとられてしまった仲間のきつねを思う気持ちが表れていると思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えたよ。(90字)</li> </ul>	
1	条件①, ②, ③を満たしているもののうち、条件①について、【話し合いの様子の一部】で示されている叙述以外を取り上げているもの	◎
2	<p>条件①, ②, ③を満たしているもののうち、条件①について、【話し合いの様子の一部】で示されている叙述を取り上げているもの</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言って山野さんをきつねが住んでいたあなに連れて行ったのは、これ以上何も聞かれぬように早く帰したかったからだと思う。だから、松ぞうじいさんはきつねだと思う。(96字)</li> </ul>	○
3	条件①, ②を満たしているもののうち、条件①について、【話し合いの様子の一部】で示されている叙述以外を取り上げているが、条件③は満たしていないもの	
4	条件①, ②を満たしているもののうち、条件①について、【話し合いの様子の一部】で示されている叙述を取り上げており、条件③は満たしていないもの	
5	<p>条件①について、【話し合いの様子の一部】で示されている叙述以外を取り上げているが、条件②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「何回も熱心にそういわれて、松ぞうじいさんは、こまったように首をふっていました」と書いてあるところから、きつねだとわかるよ。(62字)</li> </ul> <p>→上記の例は、【話し合いの様子】で示されている叙述以外を取り上げているが、取り上げた言葉や文を基に、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書いていない。</p>	
6	<p>条件①について、【話し合いの様子の一部】で示されている叙述を取り上げており、条件②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「き、きつねの写真だ」と書いてあるから、二人はきつねだと思った。(32字)</li> </ul> <p>→【話し合いの様子】で示されている叙述を取り上げているが、取り上げた言葉や文を基に、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書いていない。</p>	
7	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	

	(例)	
	○ 山野さんに対して、松ぞうじいさんは悲しんだり、冷たい態度をとったりしているから、松ぞうじいさんはきつねだとわかる。(57字)	
	→上記の例は、横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げていない。	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

### ■正答について

横山さんのように、【物語の一部】から叙述を基にして、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけについて、自分の考えをまとめて書く必要がある。

(参考)

### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25B <sup>3</sup> — ア	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く	50.0%	P. 50～P. 55	P. 65～P. 70
H25B <sup>3</sup> — イ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	45.4%	P. 50～P. 55	P. 65～P. 70
H25B <sup>3</sup> — ウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	44.8%	P. 50～P. 55	P. 65～P. 70
H26A <sup>5</sup>	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く	65.5%	P. 24～P. 26	P. 35～P. 37
H27A <sup>6</sup>	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	67.7%	P. 28～P. 30	P. 41～P. 43

(参照) 「4年間のまとめ【小学校編】」 P. 8～P. 9

「平成25年度【小学校】授業アイデア例」 P. 13～P. 14

「平成26年度【小学校】授業アイデア例」 P. 8

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えながら読む

(対応設問：設問一)

高学年では、読む本や文章が多様になるため、作者や筆者の述べたい内容や要旨を捉えるなど文章全体を読んだり、複数の本や文章などについて、様々な読み方を身に付けたりする必要がある。

物語を読む際は、登場人物について、その相互関係を捉え、それらに基づいて心情や場面の描写を捉えることができるように指導することが必要である。中学年までは、一人一人の登場人物の行動や性格に基づき、場面の展開に即して変化する気持ちを中心に捉えていたが、さらに高学年では、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって、内面にある深い心情も合わせて捉えることにつないでいくことが大切である。また、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して表現されていることに着目し、想像を豊かにしながら、読むことも大切である。

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 8～P. 9

#### (2) 物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする

(対応設問：設問二)

ものの見方や考え方を広げるために、物語を読んで感想を伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付き、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにすることは重要である。

具体的には、各自考えたことが、どのように共通していたり相違したりしているのかなどを明らかにしながら交流する機会を設定することが考えられる。その際、自分の感想を明確に伝えるには、感想を表す言葉を増やしておくことが大切である。また、感想が本や文章のどの叙述に基づいているのか、自分が現実に経験したこと、普段考えていることや関心のあることなどと、どのように結び付いているのかなどを説明することも大切である。

さらに、本問のように、物語を読んで感想を伝え合う場合、相手の考えの根拠を明確にするために、「どこからそう思うの」と質問したり、相手の考えを聞いた上で、自分の理解が正しいかどうかを確かめるために、「〇〇さんの言いたいことはそういうことなの」と質問したりするなど互いに補完し合うことによって、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように指導することが考えられる。

#### (3) 物語を読み、叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる

(対応設問：設問三)

日常の読書においては、今までの読書経験を踏まえ、叙述と自分の体験や他者の解釈とを結び付けたり、他の作品と比べたりして読むことで、より豊かに想像することができると考えられる。

叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめるためには、一つの場面の叙述だけを対象とするにとどまらず、複数の場面を比較したり、物語全体に広がっている複数の叙述を関係付けたりして読むことが重要である。さらに、高学年においては、場面の展開に沿って読みながら、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめることができるように指導することが大切である。また、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに気付き、自分の表現に生かして感想などをまとめることができるように指導することも考えられる。

(参照)「言語活動事例集【小学校版】」P. 45～P. 46

#### 4. 出典等

- ・著者 あまんきみこ『あまんきみこセレクション② 夏のおはなし』  
(2009年12月 株式会社 三省堂)  
による。



IV 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

小学校第6学年  
国語A 解答用紙

7011

《ここから右には解答を書いてはいけません。》

1 3

2 一 2 二 4

3 小野さん…… 2  
今村さん…… 3

4 一 3 二 1

5 ア 3 イ 2

6 1

大きくくいいねいに書きましょう。  
消すときは消しゴムできれいに消しましょう。

7

(1) たいしょう	対象	
(2) きぼう	希望	
(5) おいて	置 (いて)	
(3) 期限	きげん	
(4) 事務室	じむしつ	
(6) 指示	しじ	

《ここから右には解答を書いてはいけません。》

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名	組	男女	個人番号①	個人番号②

29  
国A  
算A

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1061

小学校第6学年  
国語B 解答用紙

（ここから右には解答を書きはいけません。）

1

-	3		※◆の印から書きましよう。とちゆう之行を変えないで、続けて書きましよう。
二	例	◆	話のまとまりと順序を意識して話したり、相手の反応を見て話したりすることが出来る。
三	例		※◆の印から書きましよう。とちゆう之行を変えないで、続けて書きましよう。
			折り紙のみりよくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることが出来ることや、紙一まいから立体的な形が出来ること、組み合わせて形をつなげられることだと、わたしは思います。
			40字 80字 100字

2

-	4		
二	③		※◆の印から書きましよう。とちゆう之行を変えないで、続けて書きましよう。
三	例		なぜなら、毎朝水をやりながら、◆の印から書きましよう。とちゆう之行を変えないで、続けて書きましよう。
			いとかーなけーを30字の植木が要す。たさんの植木が要す。たさんの植木が要す。たさんの植木が要す。
			60字

③の解答らんは、裏面にあります。

（ここから左には解答を書きはいけません。）

（ここから下には解答を書きはいけません。）

学校名	組	男女	個人番号①	個人番号②

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

29  
国B

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1062

国語B

← (このから右には解答を書きつけてはいけません) →

3

一	2
	1
二	4
	1
三	例
	※◆の印から書きましよう。とちゅうへ行を交えないで、続けて書きましよう。
	◆「松ぞうじいさんの目に、なみだ
	がきらりと
	ひかりました」というところは、人間にうち
とられてしまった仲間のきつねを思う気持ち	
が表れていると思うから、松ぞうじいさんは	
きつねだと考えたよ。	

60字

100字

← (このから左には解答を書きつけてはいけません) →

## V 点字問題 (抜粹)



点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば次のような配慮を行っている。

(1) 問題文などの記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

提示する情報の精選を行った上で、表などに置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について

児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

なお、上記のような配慮に伴い、解答種類の調整等を行った問題については、P. 81～P. 83に問題及び解答類型（点字問題用）を示している。

## <点字問題における具体的な配慮例>

【通常問題】	A 2
<p>二 松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。「山村さんへの手紙」の [ア] [イ] [ウ] の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。</p> <p>1 ア 自分の名前 イ 日付 ウ 相手の名前</p> <p>2 ア 日付 イ 相手の名前 ウ 自分の名前</p> <p>3 ア 相手の名前 イ 日付 ウ 自分の名前</p> <p>4 ア 日付 イ 自分の名前 ウ 相手の名前</p> <p>小国A-5</p>	<p>「 松本さんは、「山村さんへの手紙」の [ ] でのようなことを書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。</p> <p>1 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いています。</p> <p>2 今と昔の生活のちがいで、体験して気づいたことを書いています。</p> <p>3 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いています。</p> <p>4 見学をして新たに疑問に思ったことを書いています。</p> <p>小国A-4</p>
	<p>2</p> <p>【山村さんへの手紙】</p> <p>線が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々の暮らしについて考えることができました。</p> <p>特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないような汚れがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よこれを落とすには時間がかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくできて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくしていたことが、今回の見学を通して分かりました。</p> <p>昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。</p> <p>ウ ア イ</p> <p>小国A-3</p>

## 【点字問題】 A 2

本問題では、主に次のような配慮を行った。

- 1) 点字では、提示される順に情報を把握していくため、手紙における重要な情報（宛名、日付、差出人）については、冒頭に「前書き」として示す形式をとっている。そこで、本問題では、点字の手紙の形式に合わせて、通常問題の「後付け」にかかわる内容を「前付け」に変更して出題した。

参考：「特別支援学校（視覚障害）小学部点字教科書編集資料」（文部科学省，平成27年4月）

- 2) 1) の変更に伴って、「2.」の問題では、選択肢の調整を行った。
- 3) 「1.」の問題に関連し、通常問題の「山村さんへの手紙」の [ ] で示している部分については、「第二段落（4ページ下から1行目から5ページ下から6行目）」として明示した。

<点字問題（墨点字版）>

4

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、6ページから7ページの問い 1. 2. に答えましょう。

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

<点字問題（活字版）>

2

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、6ページから7ページの問い 1. 2. に答えましょう。

「山村さんへの手紙」

(ア)

(イ)

(ウ)

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

小国A(点字) - 3

5

松本さんは、「山村さんへの手紙」の第二段落（6ページ下から1行目から6ページ下から6行目）でどのようなことを書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の(1)から(4)の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(1) 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いている。  
 (2) 今日昔の生活のちがいがいいについて、体験して気づいたことを書いている。  
 (3) 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いている。  
 (4) 見学をして新たに疑問に思ったことを書いている。

2. 松本さんは、手紙の着付け（手紙の最初に付ける内容）を書こうとしています。「山村さんへの手紙」の(ア)  から(ウ)  に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の(1)から(4)までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(1) (ア) 自分の名前  
 (イ) 日付  
 (ウ) 相手の名前  
 (2) (ア) 日付  
 (イ) 相手の名前  
 (ウ) 自分の名前  
 (3) (ア) 日付  
 (イ) 自分の名前  
 (ウ) 相手の名前  
 (4) (ア) 相手の名前  
 (イ) 日付  
 (ウ) 自分の名前

小国A(点字) - 4

1. 松本さんは、「山村さんへの手紙」の第二段落（6ページ下から1行目から6ページ下から6行目）でどのようなことを書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の(1)から(4)の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(1) 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いている。  
 (2) 今日昔の生活のちがいがいいについて、体験して気づいたことを書いている。  
 (3) 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いている。  
 (4) 見学をして新たに疑問に思ったことを書いている。

2. 松本さんは、手紙の着付け（手紙の最初に付ける内容）を書こうとしています。「山村さんへの手紙」の(ア)  から(ウ)  に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の(1)から(4)までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

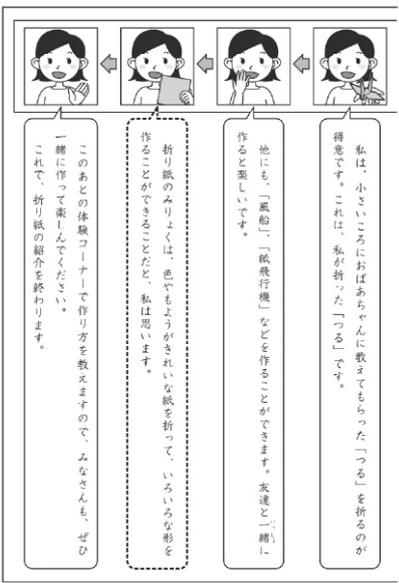
(1) (ア) 自分の名前  
 (イ) 日付  
 (ウ) 相手の名前  
 (2) (ア) 日付  
 (イ) 相手の名前  
 (ウ) 自分の名前  
 (3) (ア) 日付  
 (イ) 自分の名前  
 (ウ) 相手の名前  
 (4) (ア) 相手の名前  
 (イ) 日付  
 (ウ) 自分の名前

小国A(点字) - 4

(後略)

【通常問題】

B1



このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。

折り紙のみりよは、色でもよすがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと、私は思っています。

他にも、「風船」「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作ると楽しいです。

私は、小さいころにおばあちゃんに教わってもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

1 石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため友達に助言しながら練習しています。次は「スピーチメモ」「スピーチの練習の様子」のグループの話し合いの様子です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

- 折り紙とは、紙を折って、いろいろな形を作ります。
- 自分の経験（実際に「つる」を作る）
- 折り紙の例（「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など）
- 折り紙のみりよとは、色やよすがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができること。
- まごめ（体験「つる」のよすが）

【スピーチの様子】（動画で記録したもの）



私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。

小国B-2

1 調べて分かったことをいくつか振えているか、整理するため。

2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にしてもらうため。

3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。

4 姿勢や表情に気をつけて話していたか、ふり返るため。

二 石田さんたちは、グループの話し合いの中で、スピーチメモを使うことについてどのような意見があると考えていますか。「グループの話し合いの様子」の記録を使って、四十文字以内で書きましょう。

三 石田さんは、友達の助言を受け、「スピーチの練習の様子」の中の「スピーチ」について、もう一度考えています。石田さんは、どのように話すよとしてですか。その内容を、次の練習に活かして書きましょう。

＜案件＞

○ 折り紙のみりよについて、「スピーチメモ」と「グループの話し合いの様子」で出された意見から、それぞれ取り上げて書くこと。

○ スピーチとしてさわしい言葉遣いにする。

○ 書き出しの言葉に続けて、八十文字以上、百字以内はとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にカウント。

【グループの話し合いの様子】

北川 石田さんのスピーチ、よかったね。

上野 表情がとても明るくて、折り紙のことを伝えたいという気持ちが伝わってきたよ。

北川 実物の「つる」を見せてくれるのも、分かりやすかったね。それと、今回スピーチメモを使ってみてどうだったかな。

上野 スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな。

石田 うん、できていたと思うよ。それに、必要ときにだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。

北川 確かにできていたね。他に気を付けたことはあるかな。

石田 全体的に早口になってるように思うので、そこを直したいな。

北川 そうだったかな。動画を見てみよう。

5 (動画を見る) 5

上野 そうだね。日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね。

北川 それから、石田さんが一番伝えたいことが伝わるかどうかが大事だね。

石田 私は、折り紙のみりよを一番伝えたいな。

上野 それなら、折り紙のみりよをもっとたくさん伝えてあげよう。

北川 折り紙のみりよは、どこでも手軽にできることだと思うよ。

上野 ぼくは、紙一枚から立体的な形ができるということがみりよだと思うよ。

北川 「手裏剣」のように、組み合わせて形をつなげられることもみりよだね。

石田 折り紙のみりよはいろいろな形があるんだね。みんなの意見を参考に、もう一度考えてみるよ。

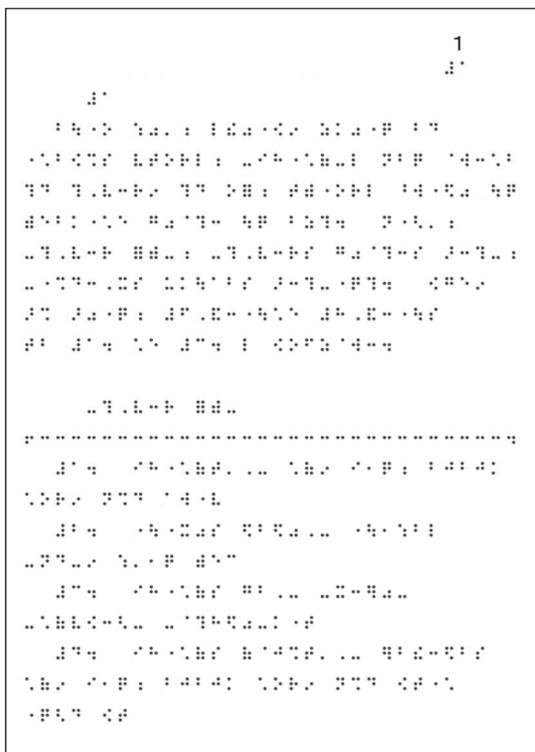
小国B-3

## 【点字問題】 B 1

本問題では、主に次のような配慮を行った。

- 1) 視覚障害に伴い「録画映像を活用した学習」は困難であるため、「録音を活用した学習」へと場面設定の変更を行った。
- 2) 実物を「目で見る」、「目で見て理解する」ことは困難であり、日常の学習や生活では、実物を「手で触る」とこと「言葉」を併せて、その物を把握したり理解したり、また相手に伝えたりする。このような学習やコミュニケーションの特性を踏まえて、通常問題における「見る」という行為を「聞く」、「触る」という行為に置き換えて文章を構成した。
- 3) 「1.」及び「3.」の問題では、「グループの話し合いの様子」や「スピーチの練習の様子」の特定の部分に着目した上で解答する必要がある。そこで、当該部分について、「○ページ○行目」などのように、点字問題冊子の該当箇所を示すようにすることで、スムーズに把握できるようにした。
- 4) 「2.」及び「3.」の問題では、字数に関する解答条件について、書き出しの言葉を明示した上で、書き出しの言葉を除いた字数を、点字によるマス数に換算して示している。

### <点字問題（墨点字版）>



### <点字問題（活字版）>

1

石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」、「スピーチの練習の様子」、「グループの話し合いの様子」です。これらをよく読んで、6ページから8ページの問い1. から3. に答えましょう。

「スピーチメモ」

1. 折り紙とは — 紙を折って、いろいろな形を作る遊び
2. 自分の経験 — 実際に「つる」を触ってもらう
3. 折り紙の例 — 「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など
4. 折り紙のみりよくとは — 正方形の紙を折って、いろいろな形を作ることができること
5. まとめ — 体験コーナーのしようかい

「スピーチの練習の様子」(録音したもの)

私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。私が折った「つる」を触ってみてください。

他にも、「風船」、「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作るのも楽しいです。

折り紙のみりよくは、正方形の紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと、私は思います。

このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。

これで、折り紙の紹介を終わります。

小国B(点字)-1



<点字問題において解答類型の変更，調整等を行った問題>

【点字問題】 A 7

√ p.22 7

次は，4年生のみなさんへの「委員会活動の体験のお知らせ」です。傍線部（ア）から（カ）について，24ページから25ページの「 」で示した漢字と同じ漢字を使うものを，それぞれ（1）から（4）までの中から一つ選んで，その番号を書きましょう。

「委員会活動の体験のお知らせ」

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

1. 日時

2月19日（月）～22日（木）

10時25分から45分まで

2. 集合場所

多目的ルーム

√ p.23

3. (ア) 参加たいしょう

4年生の(イ) きぼう者

4. (ウ) 申しこみ期限と申しこみ方法

2月14日（水）までに申しこんでください。

(エ) 事務室前に (オ) 申しこみ用紙と箱がおいてあります。

用紙にクラスと名前を書いて，箱に入れてください。

5. お願い

当日は，全員が体験できるように，放送委員の(カ) 指示にしたがってください。

√ p.24

(ア) 参加「タイ」象 23ページ1行目

- (1) ゲーム「タイ」会
- (2) 身「タイ」そく定
- (3) 期「タイ」外れ
- (4) 反「タイ」意見

(イ) 希望「シャ」 23ページ2行目

- (1) 消防自動「シャ」
- (2) 経ざい学「シャ」
- (3) 「シャ」会の教科書
- (4) 「シャ」真さつえい

(ウ) 申しこみ「キ」限 23ページ4行目

- (1) 「キ」節のうつりかわり
- (2) 「キ」立と着席
- (3) 元「キ」な赤ちゃん
- (4) 夏休みの「キ」間

√ p.25

(エ) 「ジ」務室 23ページ8行目

- (1) 道路工「ジ」
- (2) 点「ジ」ばんで書く
- (3) 「ジ」間を守る
- (4) 「ジ」分の持ち物

(オ) 申しこみ「ヨウ」紙 23ページ9行目

- (1) 「ヨウ」服を着る
- (2) 「ヨウ」事を済ませる
- (3) 日「ヨウ」日
- (4) 太「ヨウ」の光

(カ) 「シ」示 23ページ下から3行目

- (1) 「シ」料検しん
- (2) 「シ」のろう読
- (3) ピアノの「シ」導
- (4) 国語の「シ」験

問題番号		解 答 類 型		正答
7	(ア)	1	(4) と解答しているもの	◎
		2	－ (該当なし)	
		3	－ (該当なし)	
		4	－ (該当なし)	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(イ)	1	(2) と解答しているもの	◎
		2	－ (該当なし)	
		3	－ (該当なし)	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(ウ)	1	(4) と解答しているもの	◎
		2	－ (該当なし)	
		3	－ (該当なし)	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(エ)	1	(1) と解答しているもの	◎
		2	－ (該当なし)	
		3	－ (該当なし)	
		4	－ (該当なし)	
		5	－ (該当なし)	
		6	－ (該当なし)	
		7	－ (該当なし)	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(オ)	1	(2) と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	(カ)	1	(3) と解答しているもの	◎
		2	－ (該当なし)	
3		－ (該当なし)		
9		上記以外の解答		
0		無解答		



## VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、弱視児童生徒の見え方に伴う負担等を軽減するため、通常問題で使用しているA4判の用紙をB4判の大きさに拡大するとともに、次のような配慮を行っている。

- (1) 原則として文字の大きさを22ポイントとし、丸ゴシック体・中太とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

## <拡大文字問題における具体的な配慮例>

### 【通常問題】 A4

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな  
小林一茶

（調べた内容）  
季語：雪とけて  
この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ」とよんでいるそうです。

イ ひやひやと月も白しや秋の風  
上島鬼貫

（調べた内容）  
季語：秋の風  
この俳句は、「秋のこちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」がおもしろいね。声に出して読んでみるよ。（音読）

中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。「くりくり」というのは、月の（A）を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。（音読）

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

小国A-9

A4では、下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

通常問題の【俳句カード】の中にある「〈調べた内容〉」について、枠線を削除した。また、季語や季節に関する情報と、俳句の解釈を示す文との間隔を広げて、「〈調べた内容〉」について、内容を捉えやすくした。

【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな

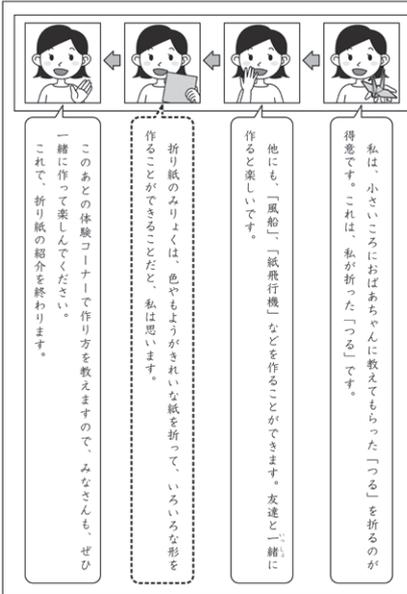
こばやし  
小林 一茶

〈調べた内容〉

季語：雪とけて

季節：春

この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。



小国B-2

1

石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」、「スピーチの練習の様子」、「グループの話し合いの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

- 1 折り紙とは（紙を折って、いろいろな形を作る遊び）
- 2 自分の経験（実際に「つる」を見せる）
- 3 折り紙の例（風船）紙飛行機（手裏剣）など
- 4 折り紙のみりよくとは（色やまようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作る）
- 5 まどめ（体験コーナーのしようかい）

【スピーチの練習の様子】（動画で記録したもの）

私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。

小国B-1

B1では、下のような配慮を行い、次のページように変更・調整した。

- 1) 通常問題では2ページの見開きで示している問題文，【スピーチメモ】，【スピーチの練習の様子】について，十分な字間と行間を確保しつつ，情報とそのまとまりの捉えやすさを考慮して，5ページに割り付けた。また，【スピーチの練習の様子】については，解答する際に必要な情報を適切に捉えるために，文字の拡大率に比べてイラストの拡大率を抑えた。
- 2) 【スピーチメモ】の囲み線について，通常問題では，メモ用紙のデザインの囲み線となっているが，シンプルな線種に変更した。

「スピーチメモ」

1 折り紙とは（紙を折って、いろいろな形を作る遊び）

2 自分の経験（実際に「つる」を見せる）

3 折り紙の例（「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など）

4 折り紙のみりょくとは  
（色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができること）

5 まとめ  
（体験コーナーのしようかい）

小国B-2

1

石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」、「スピーチの練習の様子」、「グループの話し合いの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

小国B-1




折り紙のみりょくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと、私は思います。

他にも、「風船」、「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作ると楽しいです。

小国B-4

「スピーチの練習の様子」（動画で記録したもの）




私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。

小国B-3













